

平成 29 年 12 月 1 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 平成 29 年 12 月 1 日 (金曜日)

午前 10 時 00 分から午前 11 時 55 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

教育長 高橋 譲            委 員 鷲尾 達雄            委 員 羽賀 友信  
委 員 青柳 由美子        委 員 大久保 真紀

4 職務のため出席した者

教育部長	金澤 俊道	子ども未来部長	波多 文子
教育総務課長	曾根 徹	教育施設課長	中村 仁
学務課長	佐藤 正高	学校教育課長	竹内 正浩
子ども家庭課長	大矢 芳彦	保育課長	大野 宏
青少年育成課長	伊津 芳彦	中央図書館長	山田 あゆみ
科学博物館長	小熊 博史	学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久
学校教育課主幹兼管理指導主事	柳沢 学	学校教育課主幹兼管理指導主事	神林 俊之

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 星野 麻美            教育総務課庶務係長 佐藤 裕  
教育総務課庶務係 内藤 貴幸

## 6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 43 号	平成 30 年度当初予算の要求について

## 7 会議の経過

(高橋教育長) これより教育委員会 12 月定例会を開会する。

---

### ◇日程第 1 会議録署名委員について

(高橋教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、鷲尾委員及び大久保委員を指名する。

---

### ◇日程第 2 議案第 43 号 平成 30 年度当初予算の要求について

(高橋教育長) 日程第 2 議案第 43 号 平成 30 年度当初予算の要求について を議題とする。これについては公表前であるので、非公開が適当ではないかと思うが、他の委員の方々はいかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) では、非公開とする。

————— 会議規則第 20 条第 2 項の規定により記録中止 —————

(高橋教育長) 非公開はここまでとする。

(高橋教育長) 以上をもって、本日の議案の審議については終了した。

---

(高橋教育長) 次に、協議報告事項に移る。最初に、平成 29 年度パパ向け講座実

施報告について 事務局の説明を求める。

(大矢子ども家庭課長) 今年度実施しているパパ向け各種講座の報告をする。パパ向けの講座は例年行っており、昨年度から特に力を入れている。月に1回程度子育ての駅ちびっこ広場で行っているパパトークは、勤務している男性保育士が中心となり、他のパパとお話や情報交換ができる場である。参加人数は平均2組4人と少ないが、少人数でじっくりと本音が話せるとして、好評をいただいている。ながおか市民防災センターで行っているパパサロンは、長岡市内のこだわりのあるゲストパパを迎えて、各回のトークテーマを語り合う場である。NPO法人になニーナに委託している事業であり、そのネットワークを通じてゲストパパを募っている。さいわいプラザで開催した、完璧なパパなんていない!!お父さん向け子育て応援講座は、カナダで生まれた親支援プログラムである、NP (Nobody's Perfect) プログラムをもとに開催した。6月から7月にかけて全6回の開催で、毎回同じメンバーが繰り返し集まり、グループワークを中心に講座を行った。参加人数は9人であった。奥さんや子どもの気持ちを考えるようになった、などの感想があり、好評であった。母子保健推進員協議会主催事業のパパママと赤ちゃんのつどいは、母子保健推進員を中心にさいわいプラザにて2回開催した。1回目は、パパも聞いてよ!遊んでよ♪をテーマに、男性保育士がパパならではのスキンシップや具体的な赤ちゃんとの接し方のコツを伝授した。2回目は離乳食講座を開催した。離乳食についてはパパの関心も高く、とても人気の講座である。今回も21組60人と大変多くの方に参加いただき、栄養士が離乳食の進め方について講義を行ったり、離乳食中期のメニューを実際に調理した。参加21組のうち、パパは16人の参加で、大変盛大に終わった。

(高橋教育長) 質疑・意見はないか。

(大久保委員) パパトークなど継続して実施している事業は、参加者も継続して何回も参加するのか。ママ向けの講座の場合だと、そこでママ友になったりするケースが多い。パパ向け講座でもパパ友ができたり、参加した人が口コミで事業を広めていったりするなどは感じられたか。

(大矢子ども家庭課長) 同じ悩みを持っているので、連絡先を交換したり、オフ会として飲み会を開催するなど、新たな繋がりができていると聞いている。パパサロ

ンで講師をしていただいたゲストパパや男性保育士も含めて、全体で仲良くなっているようだ。

(鷲尾委員) こういったパパ向けの講座に参加される方はどういった方たちなのか。

(大矢子ども家庭課長) パパが自分から積極的に参加するのではなく、ママの方から参加を促されて参加することが多かったようだ。

(鷲尾委員) そういった事情で参加されても、結果的にはパパ友などの新たなネットワークの構築ができているのか。

(大矢子ども家庭課長) そうである。参加した感想として、参加して良かったとの声が多く、事業を次年度以降も継続していきたいと考えている。

(青柳委員) パパママと赤ちゃんのつどいの事業報告を見ると、パパひとりで赤ちゃんを連れて参加された方がいると推察できるが。

(大矢子ども家庭課長) そのとおりである。ママから勧められて参加されたようだ。

(高橋教育長) 講座に参加する理由として、子育ての方法がわからず困っているからというよりも、積極的に子育てに参加したいからという理由の方が多いのだろうか。

(大矢子ども家庭課長) 実際に講座の参加者を見ていてそうだと感じる。参加されたことのない方に来ていただくかが、今後の検討課題であると考えている。

(高橋教育長) 子育てに困っており、専門家にその悩みを相談したいと考えて講座に参加される方が多い場合には、今年度のような土日のみの開催ではなく、日程にさらなる検討が必要だと感じる。

(高橋教育長) 以上で、協議報告事項を終える。

(高橋教育長) 次に、催し案内等について補足説明のある者は挙手願う。

(竹内学校教育課長) 熱中！感動！夢づくり教育のフェイスブックページを開設した。各学校が力を入れて熱中！感動！夢づくり教育に取り組んでおり、その授業を積極的にPRするために開設した。

(大矢子ども家庭課長) 12月23日に子育ての駅てくてくにおいて、大島中学校吹奏楽部による、わくわくクリスマスコンサートを開催する。昨年度に引き続き2回目の開催である。

(高橋教育長) 他に報告事項はないか。

(高橋教育長) 11月定例会において羽賀委員から質問のあった不読率について 事務局の報告を求める。

(山田中央図書館長) 18歳までの子どもにおいて、1か月の間に1冊も本を読まなかった割合を不読率という。毎日新聞社と全国学校図書館協議会によって毎年行われる学校読書調査によると、今年度は小学生6%、中学生15%、高校生50%の不読率であった。この調査結果は文部科学省においても、子どもの読書活動推進事業の成果指標として使用されている。第3次子どもの読書活動の推進に関する基本計画における平成29年度の不読率目標値は、小学生3%以下、中学生12%以下、高校生40%以下であり、目標を達成できなかった。長岡市ではこのような調査はしていないため比べられないが、子ども読書推進計画を策定するにあたり、平成24年と平成28年に読書に関するアンケートを実施した。それによると、不読率の割合について、小学生は5年前と比べ横ばいであるが、年長児保護者・中学生では減少している。また、小学生も学校図書室の本を利用する人が増えており、朝読書の取組も含め、各世代とも本に触れる機会は増えていると思われる。アンケート実施校は2回とも同じだが、回答数が1,000ほど減っている。それは、児童・生徒数の減少による対象数の減少と2回目の回答の回収数が低かった点が影響している。次に、11月15日に発生した中之島文化センターの大規模雨漏りについて、中之島文化センター1階にある中之島地域図書館の状況を報告する。図書館部分において、本や機械に被害はないが、床がかなり浸水しており、入室することが困難である。応急復旧が整い次第、返却ポストの利用や予約本の受け取りなど先行して行える部分は、準備が整い次第開始したい。状況に応じて進めていく。

(羽賀委員) 親の読書習慣が子どもに影響を与えると考えるので、次にアンケートを取る際は、親と子どもの関係性もわかると、今後の啓発活動をだれを対象にやれば有効かわかるので、検討いただきたい。

(高橋教育長) 次のアンケートはいつ行う予定なのか。何年間に1回行うなどのルールはあるのか。

(山田中央図書館長) 今までは、読書推進計画を策定する前に行っていたが、それに関わらず行うことも必要だと考えるので、時折調査する。本日いただいた意見を踏まえた設問を考えたい。

(高橋教育長) 今までの設問も良いが、それにプラスして全国と比較できるような工夫をした方がよりわかりやすく良いと思う。

(山田中央図書館長) 全国調査の設問と同じようなものを考えていきたい。

(高橋教育長) 他に報告事項はないか。

(高橋教育長) 次回定例会の際に1点報告をしてほしい。長岡市の不登校率である。新聞に、全国と新潟県の不登校率の数値が載っていたので、長岡市の数値を教育委員の方に示してもらいたい。

(高橋教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

---

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員